

かわ い ほうねんおど 川井豊年踊り

- ◇ 指定日 平成21年9月1日
- ◇ 所在地 川井
- ◇ 保持団体 川井郷土芸能保存会

慶長6年(1601年)、南部氏の重臣じゅうしん檜山氏が閉伊川一帯を知行した頃、既に川井御戸入が勇壮な男の踊りとなっていました。この後、「豊年踊り」が川井に生まれたと言われています。

豊年踊りは、年頃の女性が浴衣を着て、前掛け、鉢巻きをして、たすきをかけます。豊年踊りは、稲刈りと豊年祝いの2曲で構成されています。

稲刈りでは鎌を右手に、左手に稲穂を持って流暢な唄声に合わせて踊り、豊年祝いは両手に花笠を持って踊ります。

中川井地区を中心に昭和40年代まで続けられていましたが、その後中断し、平成15年に盆踊りとして復活されました。盆のかわいふるさと祭り、秋葉神社例大祭で奉納され、八尺舞、川井甚句と共に伝承されてきました。

